

INFO-HIRO-21

第442号 2018年2月1日
弘前大学総務部総務広報課

博士論文公聴会のお知らせ

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程の論文博士公聴会のお知らせ

大学院理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻の論文博士公聴会を下記の要領で開催します。

1. 日時：2018年2月7日（水）16：00～17：00
2. 場所：理工学部1号館第3講義室
3. 対象：本学教職員，学生等どなたでも（事前申し込み不要です）
4. 発表者：Ibnu Fathrio（イブヌ ファットリオ）
5. 論文題目：Evaluation of ocean heat advection role on sea surface temperature anomaly in ocean reanalysis models and Coupled Model Intercomparison Project phase 5 (CMIP5) models in western Indian Ocean
(海洋再解析データおよび気候予測モデル群(CMIP5)に現れる西インド洋の海面温度偏差に与える熱移流の検証)

問い合わせ先：理工学研究科 小菅正裕
TEL：0172-39-3609
Email：mkos@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻博士論文公聴会

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の博士論文公聴会(予定)を下記の要項で開催します。皆様のご出席お待ちしております。

- (1) 日時：平成30年2月8日（木）15：00～16：00
場所：コラボ弘大8F 八甲田ホール
学位申請者：アリサラ ラッチャ
論文題目：Preparation and Applications of Fluoroalkyl End-Capped Vinyltrimethoxysilane
Oligomeric Silica/Butadiene Copolymers Nanocomposites
(フルオロアルキル基含有ビニルトリメトキシシランオリゴマー/シリカ/ブタジエンコポリマーナノコンポジット類の調製と応用)
- (2) 日時：平成30年2月8日（木）16：05～17：05
場所：コラボ弘大8F 八甲田ホール

学位申請者：及川 祐梨

論文題目：Preparation and Application of Fluoroalkyl End-Capped Vinyltrimethoxysilane Oligomer Composites
(フルオロアルキル基含有ビニルトリメトキシシランオリゴマーコンポジット類の調製と応用)

問い合わせ先：理工学研究科機能創成科学専攻 澤田 英夫

電話：39-3947 e-mail: hideosaw@hirosaki-u.ac.jp

学位論文公聴会（予定）のご案内

下記の要領で弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程機能創成科学専攻の博士論文公聴会（予定）を開催いたします。皆様のご出席をお待ちしています。

日 時：平成30年2月19日（月）10：20～11：50

場 所：理工学部2号館11番講義室

学位申請者：佐々木春菜

論文題目：Spontaneous symmetry breaking in the mesophase of an achiral flexible liquid crystal trimer

(フレキシブルなアキラル三量体液晶が形成する中間相における自発的対称性の破れ)

問い合わせ先：弘前大学理工学部物質創成化学科 吉澤 篤

Tel：0172-39-3002

E-mail：ayoshiza@hirosaki-u.ac.jp

大学院理工学研究科博士後期課程安全システム工学専攻の博士論文公聴会

弘前大学大学院理工学研究科博士後期課程安全システム専攻の博士論文公聴会を下記の要項で開催します。皆様のご出席お待ちしております。

1. 日 時：平成30年2月20日（火）14：20～15：50

場 所：理工1号館3階4番講義室

学位申請者：Surachai Karnjanakom

論文題目：Development of Highly Active Solid Catalysts for Upgrading of

Bio-Oils（バイオオイルアップグレードのための高活性固体触媒の開発）

2. 日 時：平成30年2月20日（火）16：00～17：30

場 所：理工学研究科1号館3階4番講義室

学位申請者：Asep Bayu

論文題目：Production of High-Value Added Chemicals from Biomass-Derived

Carbohydrates（バイオマス由来炭水化物からの高付加価値化学品の生産）

【問い合わせ先】

北日本新エネルギー研究所 官 国清

e-mail：guan@hirosaki-u.ac.jp

3. 日時：2018年2月21日（水）10：00～11：00

場所：理工学部1号館第4講義室

対象：本学教職員，学生等どなたでも（事前申し込み不要です）

発表者：安全システム工学専攻 3年 鈴木陽大

論文題目：新地熱探査手法としてのストリームpHマッピング法の提唱

【問い合わせ先】

北日本新エネルギー研究所 井岡聖一郎

Tel: 017-762-7739

Mail: ioka@hirosaki-u.ac.jp

イベントのお知らせ

平成29年度「戦略1」事業（取組3）研究成果報告会開催のお知らせ

弘前大学が掲げる4つの戦略のうち「戦略1」事業ではアグリ・ライフ・グリーン分野における地域の特性・資源を活かしたイノベーション創出と人材育成を目指しています。

このうち「取組3：国際競争力のある青森ブランド食産業の創出に向けた“青森型地方創生サイクル”の確立」において取り組んできた研究成果を学内外に公表することにより、関係機関と一層の連携をはかり、“青森型地方創生サイクル”の確立を推進することを目的として、研究成果報告会を開催いたします。

本事業について紹介ページ：

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/agrilife/>

報告会では、本学の強み・特色である食・再生可能エネルギーなどの専門知識を活用した最新の研究内容について聴くことができます（研究の特性上、一部非公開あり）。

新聞やテレビに取り上げられ、注目された昨年に引き続き2回目の開催となります。

事前申込は不要ですので、この機会にぜひご参加下さい。多数のご参加をお待ちしております。

（参考）昨年の成果報告会について紹介ページ：

<http://nature.cc.hirosaki-u.ac.jp/2017/02/14/7094>



記

【日 時】平成30年2月5日（月）9：00～15：50

【会 場】弘前大学創立50周年記念会館岩木ホール

【対 象】本学教職員・連携機関関係者・企業等関係者・一般市民・本学学生
（本学教職員は非公開の研究成果報告も聴くことができます）

【参加費】無料

【申 込】事前申込は不要です。

【プログラム】

9：00～ 9：50 非公開の部 研究成果報告 5分×10件※
※非公開の部は、本学教職員・連携機関関係者のみ参加可能です。

10：00～10：10 主催者挨拶 弘前大学理事（企画担当） 吉澤 篤

- 10:10～10:25 事業全体状況報告 総括リーダー・農学生命科学部教授 石川 隆二
- 10:25～11:50 公開・第1部 研究成果報告5分×17件※
- 11:50～13:00 昼食・休憩
- 13:00～15:30 公開・第2部 研究成果報告5分×29件※
(途中休憩あり)
- 15:30～15:50 閉会の挨拶 総括リーダー・農学生命科学部教授 石川 隆二

※研究成果報告の課題・発表者については本学HPまたは農学生命科学部HPに掲載されている別紙のリストをご覧ください。

【主催】弘前大学

【問合せ先】弘前大学農学生命科学部総務グループ（総務担当）

〒 036-8373 青森県弘前市文京町3番地

TEL: 0172-39-3748 FAX: 0172-39-3750

E-mail: jm2745@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学グロウカルファンド「八戸菊プロジェクト」成果報告会について

平成29年2月から、弘前大学グロウカルファンドにより八戸市の造園業株式会社香月園との共同研究「八戸菊プロジェクト」をスタートさせました。八戸菊プロジェクトは、近年、(株)香月園が所蔵する和古書の中から、『菊押葉添句標本帖』（仮称）が発見されたことを契機として、この書を解説し、その意義を解明することを目的としています。

『菊押葉添句標本帖』は、120種類の菊の押し葉に、その菊の名に寄せた「句」が添えてあるもので、明治期の八戸の菊文化、また文化人たちの文化生活を知り得る極めて貴重な書物です。

菊葉の分析を山形大学農学部小笠原宣好准教授が、「添句」については弘前大学人文社会科学部渡辺麻里子教授とその研究室の学生が解説及び分析した結果、添句の内容が明らかになると同時に、明治初期の八戸における文化人達の菊に対する思い、和歌の教養や文化背景が見えてきました。

本成果を広く八戸市民にお知らせするために報告会を開催いたします。

****以下、プログラム****

〔弘前大学グロウカルファンド・八戸菊プロジェクト成果報告会〕
八戸菊の世界—香月園所蔵『菊押葉添句標本帖』を通して—

日時 2018年2月4日（日）13:00～15:50
会場 八戸商工会館4階 大会議室（八戸市堀端町2-3）
事前申込不要 入場無料

プログラム

総司会 弘前大学 研究・イノベーション推進機構 URA 山科則之

13:00 開会の辞 弘前大学人文社会科学部 教授 渡辺麻里子



第1部 八戸菊について

- 13:10～13:40【発表1】 香月園と菊の歴史
株式会社香月園 専務取締役 橋本修
13:40～14:00【発表2】 食用菊のルーツをさぐる
山形大学農学部 准教授 小笠原宣好

(休憩 10分)

第2部 『菊押葉添句標本帖』と添句について

- 14:10～14:20【発表3】 布引瀧の句について 弘前大学人文学部 4年 達谷窟佐紀
14:20～14:25【発表4】 歌枕高砂について 弘前大学人文学部 4年 内海弥生
14:25～14:30【発表5】 羅生門の鬼 弘前大学人文学部 4年 畑山佳奈子
14:30～14:35【発表6】 箆の梅伝説 弘前大学人文学部 4年 福士ちひろ

- 14:35～15:00【発表7】 香月園所蔵『菊押葉添句標本帖』と文学世界
弘前大学人文社会科学部 教授 渡辺麻里子

(休憩 10分)

第3部 ディスカッション

- 15:10～15:20【コメント1】 奥州菊について 八戸菊花会 会長 工藤 亮悦氏
15:20～15:30【コメント2】 菊の郷・八戸について デーリー東北新聞社 論説委員 大向富美郎氏
15:30～15:40 ディスカッション

- 15:40 閉会の辞 農林水産省産学連携支援コーディネーター 野呂治氏

主催 国立大学法人弘前大学

共催 株式会社香月園

後援 八戸市, 八戸菊花会, 八戸菊研究会, デーリー東北新聞社, 東奥日報社, 陸奥新報社

【お問い合わせ先】

- (所 属) 弘前大学人文社会科学部総務グループ
(役職・氏名) 主任・葛西裕美
(電話・FAX) 0172-39-3192・0172-39-3189
(E-mail) jm3192@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター
第52回セミナー開催のお知らせ

保健学研究科 生体応答科学研究センターでは、このたび、生体に優しい癌治療戦略や画像解析手法をテーマに下記のセミナーを開催いたします。

どなたでも参加可能ですので、ぜひお気軽にご出席ください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 日時： 平成30年2月16日（金）
14時00分～16時25分（質疑応答含む）
- 場所： 弘前大学大学院保健学研究科
B棟3階 第33講義室（弘前市本町66-1）
- 講演： 講演1「ヒト抗菌ペプチドを応用した、生体に優しい癌治療戦略の試み」
講師 奥村一彦氏（北海道医療大学歯学部歯学科組織再建口腔外科学）



講演2「病理細胞組織学における画像解析手法の基礎」

講師 木村文一氏(信州大学医学部保健学科病因・病態検査学)

5. 対 象： 学部学生，大学院生，教職員（参加無料・事前申し込み不要）

6. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター

【問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田）
電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912
E-mail：kuwata@hirosaki-u.ac.jp

被ばく医療総合研究所 連携協定締結記念講演会開催のご案内

被ばく医療総合研究所では、福島大学環境放射能研究所との連携に関する協定締結を記念し、下記のとおり講演会を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

本会では、福島大学環境放射能研究所長 難波 謙二 先生をお招きしてご講演いただきます。

事前申込みは不要ですので、この機会にぜひご参加いただきますようご案内いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

記

【日 時】 平成30年2月26日（月）16時00分～17時30分

【会 場】 弘前大学大学院保健学研究科 大学院講義室 I

【講 師】 難波 謙二 氏（福島大学環境放射能研究所 所長）

【演 題】 「福島大学環境放射能研究所の紹介」

<概要> 福島大学環境放射能研究所は、環境放射能研究を通じて福島復興に資すること、および原発事故の経験を国内外で共有し、活かすことを目的として2013年に設立されました。本研究所の地域的活動と国際的活動について紹介します。

【対 象】 学生，教職員 等

【その他】 当研究所HPにも掲載しますので、ご覧ください。
<http://www.irem.hirosaki-u.ac.jp/>

【お問合せ先】 弘前大学被ばく医療総合研究所事務室
電話：0172-39-5465 E-mail：jm5401@hirosaki-u.ac.jp



『第14回臨床糖鎖研究会』について

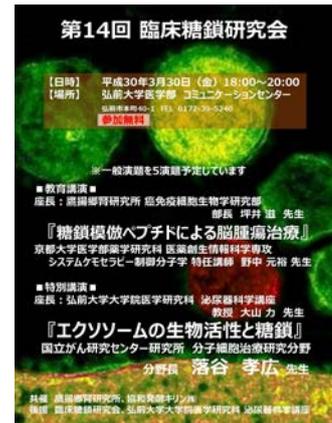
日 時：平成30年3月30日(金)18:00~20:00

場 所：弘前大学医学部コミュニケーションセンター

参加費：無料

対 象：教職員 学生 大学院生 糖鎖の興味がある方

問合せ：弘前大学大学院医学研究科 泌尿器科学講座



弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター 第51回セミナー「疫学研究による放射線の健康影響評価」開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科 生体応答科学研究センターでは、このたび疫学研究についてのセミナーを開催いたします。

本セミナーでは放射線の疫学研究がどのような方法で実施され、研究によってどのようなことが分かっているかなどをご紹介いたします。

是非お気軽にご参加ください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：平成30年2月2日(金)
14時00分~15時15分(質疑応答含む)
2. 場 所：弘前大学大学院保健学研究科
F棟1階 大学院講義室1(弘前市本町66-1)
3. タイトル：「疫学研究による放射線の健康影響評価」
4. 講 師：吉永 信治 氏
(国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター
リスク評価チーム チームリーダー)
5. 対 象：学部学生, 大学院生, 教職員
(参加費無料・事前申し込み不要)
6. 主 催：弘前大学大学院保健学研究科 □生体応答科学研究センター



【問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ(担当:桑田)
電話:0172-39-5518 FAX:0172-39-5912
E-mail: kuwata@hirosaki-u.ac.jp

平成29年度第2回 知財塾開催のお知らせ(再掲)

このたび、弘前大学研究・イノベーション推進機構では教育・研究活動によって得られた知的財産の保護及び有効な活用により、社会の持続的発展に資することを目的とした弘前大学知財塾を下記の日程にて開催いたします。

知的財産権等に関する知識、理解を深めたい方など、興味がある方は是非ご参加下さい。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成30年2月5日（月）16：15～17：30
会場：創立50周年記念会館 岩木ホールA・B
演題：「農学と知財について（仮）」
講師：国立大学法人山口大学 大学研究推進機構知的財産センター
特命准教授 陳内 秀樹 氏
対象：教職員，学生，大学院生，一般企業
定員：50名
参加料：無料

研究・イノベーション推進機構HP

<https://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/20171222-6924>

※参加を希望される方は、氏名，所属・役職，連絡先を記載し，1月26日（金）までに，以下担当までお申し込みください。

【担当】

研究・イノベーション推進機構

研究推進部研究推進課

担当：三上，山本

内線：3911

Mail：sangaku@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学農学生命科学部最終講義のお知らせ（再掲）

農学生命科学部では、戸羽隆宏教授・鈴木裕之教授・澁谷長生教授が平成30年3月31日をもって御定年を迎えられます。

先生方の御功績を讃え、長年にわたる御指導に感謝し、今後の更なるご活躍を祈念しまして、下記のとおり最終講義を催すことと致しました。

つきましては、皆様ご多用の折とは存じますが、何卒ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

日時：平成30年2月7日（水）13：00～16：00

会場：弘前大学農学生命科学部4階 402講義室

演題：

1. 13：00～ 食料資源学科食品科学コース教授 戸羽 隆宏 先生
「Lactoseからlactisまで -43年間を振り返って-」
2. 14：00～ 国際園芸農学科園芸農学コース教授 鈴木 裕之 先生
「クローニングから卵の細胞骨格研究へ」
3. 15：00～ 国際園芸農学科食農経済コース教授 澁谷 長生 先生
「ナマコをたずねて三千里」

【問い合わせ先】

農学生命科学部総務グループ総務担当（内線：2745）



弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2018開催のお知らせ(再掲)

国立大学法人弘前大学と青森県、弘前市は、科学技術振興機構JST等共催のもと、2018年2月9日(金)にシンポジウム「弘前大学COIヘルシーエイジング・イノベーションサミット2018」をアートホテル弘前シティ(青森県弘前市)で開催することとなりましたので、お知らせいたします。

当シンポジウムでは、青森県の短命県脱却と、県民・国民の健康寿命延伸、QOL(生活の質)とGNH(幸福度)の最大化による「寿命革命」実現に向けて、弘前COI拠点による社会イノベーション(社会実装・新産業創出)の進展と進むべき方向性など、真の「健康の姿(未来)」のあり方について、COI参画機関をはじめとした産学官金トップが一同に会して徹底討論します。

今回は、カゴメ株式会社 代表取締役社長 寺田直行氏や、著名な料理研究家 浜内千波先生、青森県医師会 会長 齊藤勝氏など、第一線で活躍する 豪華ゲストや地域のリーダーをお招きしてご講演いただく予定です。弘前大学 COI 拠点長の中路重之先生は、基調講演で「健康未来イノベーション戦略 (仮)」と題して発表します。

他にも盛りだくさんの内容でお送りいたします。ご期待ください。

文部科学省・JSTが実施する研究支援事業「COI(センター・オブ・イノベーション)」は、日本に真のイノベーションをもたらす国家的プロジェクトとして期待されています。

ご多忙とは存じますが、当シンポジウムにご参加いただき、弘前大学COIのみならずCOI事業全体へのご理解を深めていただければ幸いです。

●お申込は、以下項目①～⑧をご記入の上、メールまたはFAXをお送りください。

※先着順。定員に達し次第、お申込を締め切らせていただきます。

- ①会社名・団体名 ②TEL ③FAX ④E-mail ⑤部署名
⑥役職名 ⑦参加者氏名(フリガナ) ⑧交流会(参加・不参加)

※交流会費は3,000円程度を予定。

※交流会の当日キャンセルは、キャンセル料が発生する場合がございます。ご了承ください。

送信先: COI研究推進機構 宛

メール: coi_info@hirosaki-u.ac.jp FAX : 0172-39-5205



**2018年 弘前大学白神研究会 積雪季観察会
白神山地スノートレッキング ～冬の十二湖を散策しましょう～ (再掲)**

▽と き 3月10日(土) 午前10時30分～午後2時30分(雪・雨天決行)

▽コース 深浦町: 十二湖ビジターセンター-青池-金山の池-湧き壺の池巡回

▽集合 アオーネ白神十二湖(旧サンタランド) 駐車場

(車のない方はお申し出下さい。7時30分弘前大学正門集合です)

▽参加人数 20名

▽対 象 小学4年生以上(小中学生は保護者同伴)

雪の中を4時間ほど歩きますので、高血圧、心臓疾患など持病のある方は、医師にご相談の上ご参加下さい。

▽服装・装備

服装はスキーウェア。足は長靴が最適。オーバーズボンあるいはロングスパッツがあるといいです。かんじき・スノーシュー(ない方はお貸しします)。スキーのストック。お弁当、暖かい飲み物。



弘前大学白神研究会

▽参加費用 1人1000円（テキスト・傷害保険代金）＊白神研究会会員の方は500円

▽主 催 弘前大学白神研究会

▽問い合わせ

弘前大学農学生命科学部 白神研究会事務局：本多 Tel/Fax 0172-39-3812

E-mail：honda@hirosaki-u.ac.jp

▽申 込 弘前大学白神自然環境研究所：山岸Tel/Fax 0172-39-3706

E-mail：hyama@hirosaki-u.ac.jp

▽締切日 最終申込日は3月7日（水）ですが、定員になり次第締め切ります。

学 内 掲 示 板

学長オフィスアワー変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、オフィスアワーの日程変更がありますのでお知らせいたします。

【変更前】 平成30年2月15日（木）15：00～17：00

【変更後】 平成30年2月21日（水）15：00～17：00

問い合わせ先：弘前大学総務部総務広報課（秘書室）TEL：0172-39-3004

URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/information/about/president/officehour.html>

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第47号」

<http://www.janu.jp/report/koho/47gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail：jm3012@hirosaki-u.ac.jp FAX:37-6594 内線：3029